

# 健康危機管理対策専門委員会

## 目 次

### 健康危機管理対策専門委員会平成24年度報告書

- I. 委 員 会
- II. 「新型インフルエンザアンケート報告書」  
編集委員会
- III. 新型インフルエンザアンケートに  
関する学会発表
- IV. 成 果 物

# 健康危機管理対策専門委員会

(平成 24 年度)

## 健康危機管理対策専門委員会平成 24 年度報告書

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

委員長 桑原 正雄

今年度も、県内全域での感染症対策を取り上げて検討した。特に、前年度からの継続となっている課題について精力的に取り組み、膨大なアンケート数のために集計作業に長期間を要した“新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書”を発刊することができた。さらに、“HIV 針刺し対応マニュアル、予防接種啓発リーフレット、熱帯感染症検査体制リーフレットを作成し、医療機関などへ配布した。

### I . 委 員 会

- 1) 第 1 回：平成 24 年 7 月 20 日
- 2) 第 2 回：平成 24 年 10 月 29 日
- 3) 第 3 回：平成 25 年 3 月 27 日

### II . 「新型インフルエンザアンケート報告書」 編集委員会

### III . 新型インフルエンザアンケートに関する 学会発表

- 1) H1N1pdm (2009) 流行時の予防行動と罹患に関する大規模調査からみた感染規模に関する数理疫学的検討

演者：佐藤友紀，秋田智之，松岡俊彦，桑原正雄，  
田中純子（広島大学疫学・疾病制御学ほか）

学会名：第 23 回日本疫学会学術総会

学会期日，会場：平成 25 年 1 月 24～26 日，吹田市  
（大阪大学）

### IV . 成 果 物

- 1) “新型インフルエンザに関するアンケート調査報告書”（117 ページ，資料編 CD 付き）

2009 年に米国，メキシコで発生し，全世界に拡大した新型インフルエンザ－インフルエンザ（H1N1）2009 の流行が終息した 2010 年秋に，広島県民を対

象にパンデミックの対応や意識などについての大規模アンケート調査を行った。解析対象総数は 176,113 件（全県民の 6.2%）という膨大な調査となり，集計・解析に約 2 年を要して，報告書が完成した。

本報告書では，アンケート項目から，「役立った情報源」，「罹患率および罹患時の行動」，「予防対策」，「ワクチン接種」，「県民の不安および意見」，「圏域ごとの意見」，「小児科医および産業医からみた新型インフルエンザ」について纏めた。広島県での健康被害は低いパンデミックではあったが，国内侵入期～県内流行拡大期には，多くの県民が初めての経験であり，不安や混乱が報告された。その不安では，医療機関対応，ワクチン不足，情報混乱・不足，日常感染対策グッズなどの医療に関するだけでなく，罹患による学校や会社への出席・勤務停止，子どもの休みに伴う親の出勤困難などの社会的な問題も挙げられた。また，情報提供方法，相談センターや地域ごとの対応などについて行政やメディアにも検討が求められた。

本報告書は，当委員会が企画し，県医師会会員，地区医師会，幼稚園，保育園，学校や企業などが協力して 17 万人強の県民のアンケート調査を行い，広島県医師会，広島県健康福祉局健康対策課および広島大学疫学・疾病制御学講座がデータ入力し，当委員会で解析，報告書作成を行った。

新型インフルエンザに関する多数の県民へのアンケート調査は，国内では初めてのものであり，広島県地域保健対策協議会としても大きな業績であるとともに，行政や国内研究機関などでの利用価値は高いものとなった。このために，全データを入れた CD を添付した報告書を作成し，厚労省，都道府県，県内市町，日本医師会，都道府県医師会，県内地区医師会，圏域地対協，県教育委員会，日本感染症学会などへ送付した。

2) “医療従事者などにおける体液暴露事故後の HIV 感染防止マニュアル” (更新) (16 ページ)  
本マニュアルは、広島県の医療機関で HIV 抗体陽性または陽性を疑われる患者に対する医療行為によって生じた曝露事故に際し、適切に抗 HIV 薬の予防内服を行うことができるように、それぞれの医療機関の対応と連携について記載したものである。(「はじめに」から抜粋)

上記の目的のために平成 21 年度に作成した本マニュアルを、広島大学病院エイズ医療対策室および同薬剤部の協力で、対応協力医療機関や抗 HIV 薬、内服のタイミングなどを変更し、第 2 版として作製した。

会員には、HIV による針刺し事故などの場合に迅速対応するために、広島県医師会速報 (第 2188 号、平成 25 年 4 月 15 日) の附録として配布した。さらに、広島県および広島県地域保健対策協議会のホームページにて掲載して、広島県歯科医師会などの関係団体にも利用を呼び掛けた。

■広島県ホームページ→広島県感染症・疾病管理センター→医療従事者等における体液曝露事故後の HIV 感染防止マニュアル

[http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/life/175059\\_303334\\_misc.pdf](http://www.pref.hiroshima.lg.jp/uploaded/life/175059_303334_misc.pdf)

■広島県地域保健対策協議会ホームページ→公開資料→資料提供→医療従事者等における体液曝露事故後の HIV 感染防止マニュアル

[http://citaikyo.jp/file/2013/pdf/20130416\\_hiv.pdf](http://citaikyo.jp/file/2013/pdf/20130416_hiv.pdf)

3) 予防接種啓発リーフレット “子どもたちを守るために予防接種の普及を目指して” (12 ページ)

広島県小児科医会との共同執筆となった本リーフレットは、主に医師、保育園・幼稚園の保育士など、子どもの健全な発育と健康を守る人に予防接種を理解し推進してほしいとの目的から、作成したものである。ワクチンで防げる病気 (VPD) の説明、ワクチンの重要性、アンケート調査成績、接種スケジュールなどについて解りやすく記載し、県内保育園および幼稚園などの関係者に配布しており、広島県医師会 HP にも掲載した。

4) 熱帯感染症検査体制リーフレット

熱帯感染症が疑われる際に、専門的な検査が必要だが、県内医療機関では原因微生物検査が難しいケースがある。これらに対して、検査の流れを示したフローチャートを作成した。

本リーフレットには、①熱帯性感染症 (熱帯地方から帰国後 2 週間程度以内で、発熱などの感染症を疑う症状を有し、あまり本邦では経験しないような疾患でかつ、検査が保険適応ではない疾患) を疑う場合 (広島県版、広島市版) ②広島市衛生研究所における遺伝子検査などによる確定検査を行う必要がある感染症を疑う場合 (広島市版) を想定して、検査対応の流れを表示しており、現在 HP に掲載しているが、広島県医師会速報附録として配布した。

新型インフルエンザに関する

# アンケート 調査報告書

広島県地域保健対策協議会  
健康危機管理対策専門委員会



# あいさつ

広島県地域保健対策協議会は、県内における保健・医療・福祉に関する事項を総合的に調査、研究、協議し、その結果を保健医療施策に反映させ、もって県民の健康の保持・増進と福祉の充実に寄与することを目的として昭和44年に設立されました。広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会の活動は、これまでも多くの提言を行政等の関係機関に対し発信し、多大な成果を挙げてまいりました。

発足以来40余年を迎えましたが、このような組織は他県に例がなく、全国的にも非常に注目されており、ますます本協議会に対する期待が高まっております。

このたび、本協議会内に設置の「健康危機管理対策専門委員会」では、平成21(2009)年に発生した新型インフルエンザパンデミックにおいて、広島県が行った対策について実際に県民がとった行動がどうであったかなどを検証し、今後の対策に資するために一般県民を対象にアンケート調査を実施いたしました。県民並びに関係団体の皆さま方からのご協力により、176,113件のアンケートを解析することができましたことを心より感謝申し上げます。

回収したアンケートは、県民の情報源、罹患時の行動、予防対策、ワクチンの接種、県民の不安や意見などについて解析を行い、実際に県民がとった行動や意識も知ることができ、意見からは行政が発信する広報活動のあり方などの問題点が指摘されております。

今後もこの調査報告書を踏まえ検討を重ねながら、これまで以上に日常での感染予防対策などを行うとともに、不測の状況に的確に県民に不安を与えることなく対応できる関係団体が連携した危機管理対策の構築が必要であると考えております。

本アンケートの調査報告書が皆様の今後の対策の一助になれば幸いです。

今後とも健康と安全を守るために、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年3月

広島県地域保健対策協議会 会長 平 松 恵 一

# インフルエンザ (H1N1) 2009アンケートについて

2009年春にメキシコや米国で始まったインフルエンザ (H1N1) 2009のパンデミックは、瞬くうちに日本に上陸し、6月には広島県にも広がり、新型インフルエンザとして県民を恐怖に陥れた。わが国では以前から致死率の高い新型インフルエンザを想定して対策を立てており、今回のパンデミックにおいても流行当初から計画に沿った対応が行われた。

広島県ではこのパンデミックで約40万人（推定）が罹患し、3人が死亡したが、県民がどのような行動や意識であったかは定かではない。そこで、広島県地域保健対策協議会（以下「県地对協」という。）では、今回のパンデミックを検証し、将来発生が予想される致死率の高い新型インフルエンザへの対策に資するために、県民を対象に行動や意識などについてアンケート調査を行った。

下記に、本報告書を読んでいただくために、調査方法、解析数などを紹介する。

## 1 アンケート調査方法について

### 1) 調査期間及び調査対象

平成22年7月～10月の間に、広島県の一般県民を対象として、主に中学生以下については保護者に（以下「保護者用アンケート」という。）、主に高校生以上には本人へ（以下「一般用アンケート」という。）アンケートを配布して調査した。

### 2) 調査内容

別紙のように、住所、年齢、性別、有効なインフルエンザ情報の入手、インフルエンザ罹患と時期、家族内感染、予防、ワクチンなどとした。

### 3) アンケート配布対象者

- ①県内の全ての保育園及び私立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の全児童・生徒
- ②県内の一部の公立幼稚園・小学校・中学校・高等学校の全児童・生徒
- ③県内の一部の企業の社員
- ④県内の一部の診療所の受診者など

### 4) アンケート配布方法

- ①保育所：広島県保育連盟連合会に調査協力を依頼し、全施設に配布  
私立幼稚園～高等学校：県内の私立幼稚園～高等学校の全施設に配布
- ②公立幼稚園～高等学校：広島県教育委員会に依頼し、圏域地对協ごとに施設に配布
- ③企業：産業医に依頼し、協力受諾企業に配布
- ④地域住民：圏域地对協ごとに医療機関を選定し、受診者などに配布

### 5) アンケート集計目標

全ての二次医療圏から回収し、全県では保護者用アンケートは50,000件及び一般用アンケート10,000件、両者で県内全人口の2%の調査を目標とした。

### 6) 調査研究の承認

本調査及び集計解析については広島大学疫学研究倫理審査委員会の承認（疫-411号）を得た。

### 7) COI

本調査研究を行ったすべての人は、調査や報告に関連して、開示すべきCOI関係にある企業などはない。

## 2 アンケートの回収及び解析

アンケートの回収は、広島県医師会、地区医師会及び広島県健康福祉局健康対策課で行い、入力・集計は広島県医師会、広島県健康福祉局健康対策課及び広島大学大学院医歯薬保健学

研究院疫学・疾病制御学で行った。

1) 回収数・回収率及び解析対象数・有効回答率

配布数333,892件、回収した総数は178,669件、このうち、性別、地域、年代のいずれかが無記入あるいは不備な回答のために集計から除外したものは2,556件、最終的に集計・解析したアンケートは176,113件となった。

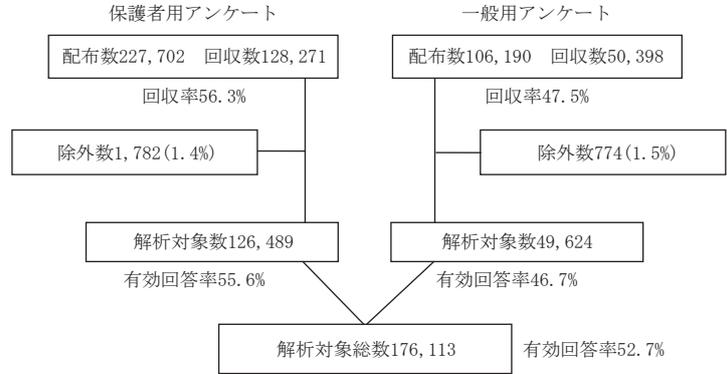


図1 アンケート回収数・回収率及び解析対象数・有効回答率

2) 解析したアンケート

解析したアンケート数を年齢区分及び二次医療圏別に表1に示した。

年齢区分では保育園から中学生までの年代でのアンケートが多く、アンケート配布先及び協力体制の影響が見られた。

県内の二次医療圏は7か所に分かれており、広島市を中心とした広島圏域が最も人口が多く、次いで福山市の福山府中圏域、呉市の呉圏域などで、各圏域人口におけるアンケート数比率は、2.9～8.8%、全体では6.2%で、計画を大きく上回った。

このように、県民の協力により膨大なアンケートを解析することができ、年代や地域などから広範囲な検討が可能になった。

表1 年齢区分及び二次医療圏別のアンケート解析件数

アンケート	年齢区分/二次医療圏	広島	広島西	呉	広島中央	尾三	福山府中	備北	その他	合計
保護者用	0歳	364	36	41	32	42	282	21	6	824
	1-3歳	9079	757	1363	1203	1127	3604	571	32	17736
	4-6歳	22255	1619	2520	2308	1883	5543	958	42	37128
	小学生低学年7-9歳	22956	80	46	64	679	1329	55	27	25236
	小学生高学年10-12歳	23203	99	78	152	1125	1580	24	38	26299
	中学生13-15歳	15185	264	249	389	1100	1774	52	110	19123
	高校生16-18歳	105	2	2	2	8	24	0	0	143
	小計	93147	2857	4299	4150	5964	14136	1681	255	126489
一般用	中学生	22	8	1	0	0	1	0	0	32
	高校生	11755	766	1579	1291	1394	1863	116	316	19080
	10歳代(中高校生以外)	4801	154	60	151	46	187	29	13	5441
	20歳代	1882	395	248	273	438	1498	108	184	5026
	30歳代	1543	484	239	299	707	1670	185	201	5328
	40歳代	1751	421	214	272	534	1360	191	193	4936
	50歳代	1892	356	241	239	639	1535	245	164	5311
	60歳代	330	93	42	49	467	1277	150	81	2489
	70歳代	76	39	5	8	337	788	115	22	1390
	80歳以上	21	17	0	1	167	318	60	7	591
小計	24073	2733	2629	2583	4729	10497	1199	1181	49624	
合計	117220	5590	6928	6733	10693	24633	2880	1436	176113	
アンケート 件数・人口比	人口(平成22年3月)	1,335,048	146,755	271,808	216,032	267,925	519,942	98,798	-	2,856,308
	比率(%)	8.8	3.8	2.5	3.1	4.0	4.7	2.9	-	6.2

### 3 報告書について

本報告書では、アンケート項目ごとに記載し、二次医療圏域や小児科医、産業医の立場からの報告も加えた。また、パンデミック時の広島県の状況及び広島県医師会の対応も収載した。このように当時が詳細に振り返ることができる報告書となっているので、ぜひとも参考にされたい。

### 4 アンケート成績の利用について

本アンケートについて、本文には集計および解析した成績を示すとともに、巻末CDにはアンケート単純集計を取めた。これは、本報告書の著作権は広島県地域保健対策協議会に帰属するために無断転載を禁ずるが、必要であれば成績を広く利用して頂きたいためである。

成績の利用を希望される方は、以下を厳守下さい。

- 1) 本文については、出典を明示して頂きたい。
- 2) CD データの利用については、利用願を提出して、当協議会の許可により利用可能となる。
- 3) 詳しくは、広島県医師会地域医療課（082-232-7211）まで問い合わせして下さい。

#### 本報告書での主な語句

- ・インフルエンザ（H1N1）2009：2009年に発生した新型インフルエンザ
- ・保護者用アンケート：主に中学生以下が対象で、その保護者が回答したアンケート
- ・一般用アンケート：主に高校生以上が対象で、本人が回答したアンケート
- ・罹患率：対象人口当たりのインフルエンザ（H1N1）2009推定罹患者数比率
- ・接種率：対象人口当たりのインフルエンザ（H1N1）2009用ワクチン推定接種者数比率

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会  
委員長 **桑原正雄**  
(県立広島病院 院長)

## 新型コロナウイルスについてのアンケートにご協力をお願いします。(保護者用)

既にアンケートをお答えの方はご遠慮ください。  
 昨年に発生した新型コロナウイルスについてみなさまの意見をお聞きしています。  
 よろしければ、お子様のことに関して保護者の方がお答えください。  
 ※複数のお子様がおられましたら、どなたかお一人に関して、  
 該当する番号を○で囲んでください。また、枠の中にご記入ください。

**問1** あなたはどちらにお住まいですか？

- ①広島市 ②呉市 ③竹原市 ④三原市 ⑤尾道市 ⑥福山市 ⑦府中市  
 ⑧三次市 ⑨庄原市 ⑩大竹市 ⑪東広島市 ⑫廿日市市 ⑬安芸高田市 ⑭江田島市  
 ⑮府中町 ⑯海田町 ⑰熊野町 ⑱坂町 ⑲安芸太田町 ⑳北広島町 ㉑大崎上島町  
 ㉒世羅町 ㉓神石高原町 ㉔その他 ( )

**問2** あなたのお子様は何歳ですか？(平成22年3月31日現在の年齢をご記入ください。)

歳 [ 記入例  歳,  歳, ]

**問3** あなたのお子様の性別はどちらですか？

- ①男性 ②女性

**問4** あなたは新型コロナウイルスに関する情報で、どの情報が一番役立ちましたか？

- ①テレビ ②新聞 ③パンフレット(折込みチラシ含む) ④インターネット  
 ⑤その他 ( )

**問5** あなたのお子様、新型コロナウイルスにかかったと聞いたことがありますか？

- ①ある ②ない

→ 新型コロナウイルスにかかったと思ったとき、どうされましたか？

- i かかりつけの医療機関を受診した  
 ii かかりつけ以外の医療機関を受診した  
 iii 保健所等(発熱相談センター)に相談して、指定された医療機関で受診した  
 iv 保健所等(発熱相談センター)に相談して、自宅で療養した  
 v 受診しなかった  
 vi その他 ( )

**問6** あなたのお子様は、平成21年6月から平成22年5月の間に新型コロナウイルスと医師に診断されましたか？それはいつ頃でしたか？

- ①診断された ②診断されなかった

→ ① 6月 ② 7月 ③ 8月 ④ 9月 ⑤ 10月 ⑥ 11月 ⑦ 12月  
 ⑧ 1月 ⑨ 2月 ⑩ 3月 ⑪ 4月 ⑫ 5月

**問7** 新型コロナウイルスに関連して、お子様は学校(保育所・幼稚園)を休まれましたか？また、お子様が休まれた方にお聞きします。休まれた日数と理由はなんですか？

- ①休んだ  日 ②休まなかった

→ 休んだ理由はなんですか？

- i 本人が新型コロナウイルスにかかったから  
 ii 家族が新型コロナウイルスにかかったから  
 iii 学校(保育所・幼稚園)から休むようにいわれたから  
 iv 学校(保育所・幼稚園)が休みになったから  
 v 新型コロナウイルスにかかるのが、心配だったから  
 vi その他 ( )

**問8** お子様と同居している家族は何人ですか？そのうち何人の方が新型インフルエンザと診断されましたか？

お子様を含めた家族  人

お子様を含めた家族のうち、新型インフルエンザと診断された家族  人

→ 具体的に診断された方はどなたですか？（お子様からみて）

- ①本人（お子様） ②祖父 ③祖母 ④父 ⑤母 ⑥兄弟姉妹（  人中  人）  
⑦その他（  ）

**問9** あなたのお子様に対し、新型インフルエンザの予防に関して注意したことはなんですか？（特に注意したことを2つまでお答えください）

- ①ワクチンの接種 ②うがい・手洗いの徹底 ③マスクの着用 ④咳エチケット  
⑤人ごみに出さない（外出を控える） ⑥十分な休養 ⑦特にしていない  
⑧その他（  ）

**問10** あなたのお子様は新型インフルエンザワクチンの予防接種を受けましたか？

- ①受けた（ **問11** へ） ②受けていない（ **問12** へ）

**問11** 問10で「①受けた」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けた理由は何ですか？（受けた理由を2つまでお答えください）

- ①医師等に勧められたから ②家族に勧められたから  
③仕事・学校を休みたくなかったから ④優先順位にはいなかったから  
⑤マスクミがいていたから ⑥無料だったから ⑦予防に有効だと思ったから  
⑧その他（  ）

**問12** 問10で「②受けていない」と回答された方にお聞きします。予防接種を受けさせなかった理由は何ですか？（受けなかった理由を2つまでお答えください）

- ①予防接種がいやだったから ②既に新型インフルエンザにかかっていたから  
③季節性インフルエンザの予防接種で十分だと考えたから ④効果が期待できないから  
⑤時間がなかったから ⑥希望する時期にワクチンが不足していたから  
⑦有料だったから ⑧その他（  ）

**問13** お子様について、新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？（特に不安に思ったことを2つまでお答えください）

- ①命・健康に関わること ②学校（保育所・幼稚園）に行けなくなること  
③情報が多すぎたこと（情報が錯綜していた） ④人ごみの中に行くこと ⑤不安はなかった  
⑥その他（  ）

**問14** その他、新型インフルエンザへの行政機関および医療関係者の対応についてご意見がありましたらお書きください

**ご協力ありがとうございました。広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会**

※ 県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された**広島県地域保健対策協議会**は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を行っています。

## 新型インフルエンザについてのアンケートにご協力をお願いします。(一般用)

昨年に発生した新型インフルエンザについて、みなさまの意見をお聞きしています。

該当する番号を○で囲んでください。また、枠の中にご記入ください。

**問1** あなたはどちらにお住まいですか？

- ①広島市 ②呉市 ③竹原市 ④三原市 ⑤尾道市 ⑥福山市 ⑦府中市  
⑧三次市 ⑨庄原市 ⑩大竹市 ⑪東広島市 ⑫廿日市市 ⑬安芸高田市 ⑭江田島市  
⑮府中町 ⑯海田町 ⑰熊野町 ⑱坂町 ⑲安芸太田町 ⑳北広島町 ㉑大崎上島町  
㉒世羅町 ㉓神石高原町 ㉔その他 ( )

**問2** あなたは何歳ですか？

- ①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上

**問3** あなたの性別はどちらですか？

- ①男性 ②女性

**問4** あなたは新型インフルエンザに関する情報で、どの情報が一番役立ちましたか？

- ①テレビ ②新聞 ③パンフレット(折込みちらし含む) ④インターネット  
⑤その他 ( )

**問5** あなたは、新型インフルエンザにかかったと覚えたことがありますか？

- ①ある ②ない

→ 新型インフルエンザにかかったと覚えたとき、どうされましたか？

- i かかりつけの医療機関を受診した  
ii かかりつけ以外の医療機関を受診した  
iii 保健所等(発熱相談センター)に相談して、指定された医療機関で受診した  
iv 保健所等(発熱相談センター)に相談して、自宅で療養した  
v 受診しなかった  
vi その他 ( )

**問6** あなたは、平成21年6月から平成22年5月の間に新型インフルエンザと医師に診断されましたか？それはいつ頃でしたか？

- ①診断された ②診断されなかった

→ ①6月 ②7月 ③8月 ④9月 ⑤10月 ⑥11月 ⑦12月  
⑧1月 ⑨2月 ⑩3月 ⑪4月 ⑫5月

**問7** 新型インフルエンザに関連して、学校・仕事を休まれましたか？また、休まれた方にお聞きします。休まれた日数と理由はなんですか？

- ①休んだ  日 ②休まなかった

→ 休んだ理由はなんですか？

- i 自分が新型インフルエンザにかかったから  
ii 家族が新型インフルエンザにかかったから  
iii 学校・会社から休むようにいわれたから  
iv 学校・会社が休みになったから  
v 新型インフルエンザにかかるのが、心配だったから  
vi その他 ( )

**問8** あなたの同居している家族は何人ですか？そのうち何人の方が新型インフルエンザと診断されましたか？

あなたを含めた家族  人

あなたを含めた家族のうち、新型インフルエンザと診断された家族  人

→ 具体的に診断された方はどなたですか？（あなたからみて）

- ①あなた ②配偶者 ③子ども（  人中  人） ④父 ⑤母 ⑥祖父 ⑦祖母  
⑧その他（  ）

**問9** あなたが新型インフルエンザの予防に関して、注意したことはなんですか？  
（特に注意したことを2つまでお答えください）

- ①ワクチンの接種 ②うがい・手洗いの徹底 ③マスクの着用 ④咳エチケット  
⑤人ごみに出さない（外出を控える） ⑥十分な休養 ⑦特にしていない  
⑧その他（  ）

**問10** あなたは新型インフルエンザワクチンの予防接種を受けましたか？

- ①受けた（ **問11** へ） ②受けていない（ **問12** へ）

**問11** 問10で「①受けた」と回答された方にお聞きます。予防接種を受けた理由は何ですか？  
（受けた理由を2つまでお答えください）

- ①医師等に勧められたから ②家族に勧められたから  
③仕事・学校を休みたくなかったから ④優先順位にはいなかったから  
⑤マスクミがいていたから ⑥無料だったから ⑦予防に有効だと思ったから  
⑧その他（  ）

**問12** 問10で「②受けていない」と回答された方にお聞きます。予防接種を受けさせなかった理由は何ですか？（受けなかった理由を2つまでお答えください）

- ①予防接種がいやだったから ②既に新型インフルエンザにかかっていたから  
③季節性インフルエンザの予防接種で十分だと考えたから ④効果が期待できないから  
⑤時間がなかったから ⑥希望する時期にワクチンが不足していたから  
⑦有料だったから ⑧その他（  ）

**問13** 新型インフルエンザに関して不安に思ったことはどんなことですか？  
（特に不安に思ったことを2つまでお答えください）

- ①命・健康に関わること ②仕事・学校に行けなくなること  
③情報が多すぎたこと（情報が錯綜していた） ④人ごみの中に行くこと ⑤不安はなかった  
⑥その他（  ）

**問14** その他、新型インフルエンザへの行政機関および医療関係者の対応について  
ご意見がありましたらお書きください

ご協力ありがとうございました。広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

※ 県民の健康保持増進に寄与する目的で設置された**広島県地域保健対策協議会**は、広島大学・広島県・広島市・広島県医師会の四者で構成され、目的ごとに設置された委員会が、保健・医療・福祉に関する事項の調査・研究及び協議等を行っています。

## 目次

あいさつ	広島県地域保健対策協議会 会長 平松 恵一	
インフルエンザ (H1N1) 2009アンケートについて	健康危機管理対策専門委員会委員長 桑原 正雄	
1 総論	健康危機管理対策専門委員会委員長 桑原 正雄 広島市医師会運営安芸市民病院 名誉院長 横山 隆	1
2 役に立った情報源	東部保健所長 岸本 益美 広島県健康対策課 松岡 俊彦	5
3 罹患率	広島大学大学院医歯薬保健学研究院疫学・疾病制御学教授 田中 純子	8
4 罹患時の行動	東部保健所長 岸本 益美 広島県健康対策課 松岡 俊彦	28
5 予防対策	広島大学病院検査部 准教授 横崎 典哉	35
6 ワクチン接種	堀江医院院長 堀江 正憲 広島県健康福祉局健康対策課 松岡 俊彦	38
7 県民の不安	健康危機管理対策専門委員会委員長 桑原 正雄	50
8 県民の意見	広島大学感染症科教授 大毛 宏喜	54
9 圏域ごとの意見		62
広島市連合地区地域保健対策協議会	会長 長崎孝太郎	76
芸北地域保健対策協議会	会長 澤崎 晋一	92
西部地域保健対策協議会	会長 荒田 寿彦	101
呉地域保健対策協議会	会長 原 豊	104
広島中央地域保健対策協議会	会長 山崎 正教	107
尾三地域保健対策協議会	会長 中林 昭策	110
福山・府中地域保健対策協議会	会長 亀川 陸雄	118
備北地域保健対策協議会	会長 星田 昌吾	123
10 小児科医からみた新型インフルエンザ	新田小児科院長 新田 康郎	125
11 産業医からみたインフルエンザ (H1N1) 2009	三菱レイヨン株式会社産業医 大竹事業所診療所長 真鍋 憲幸	132
12 学会発表		138
13 参考資料		139
関係者一覧		175
おわりに		177

# 医療従事者等における 体液曝露事故後の HIV感染防止マニュアル

平成25年3月

広島県地域保健対策協議会  
(広島大学・広島県・広島市・広島県医師会)  
(健康危機管理対策専門委員会)

## 目 次

1 HIV曝露後予防対応協力施設一覧表 .....	1
2 事故後対応フローチャート(緊急対応用) .....	2
3 HIV曝露後の対応について(事故後対応フローチャート参照).....	3
4 HIV曝露後予防対応協力施設での対応(事故後対応フローチャートの詳細)...	4
5 予防内服用に処方される抗HIV薬の注意点 .....	5
6 費用負担について .....	6
7 労災保険における取扱いについて .....	7

(別紙1) 紹介状

(別紙2) 抗HIV薬による予防内服についての説明書

(別紙3) 患者へのHIV検査の説明事項

(別紙4) HIV検査等に関する同意書(患者用)

(別紙5) HIV検査等に関する同意書(被曝露者用)

(別紙6) 予防内服に関する同意書

## 1

## HIV曝露後予防対応協力医療機関一覧表

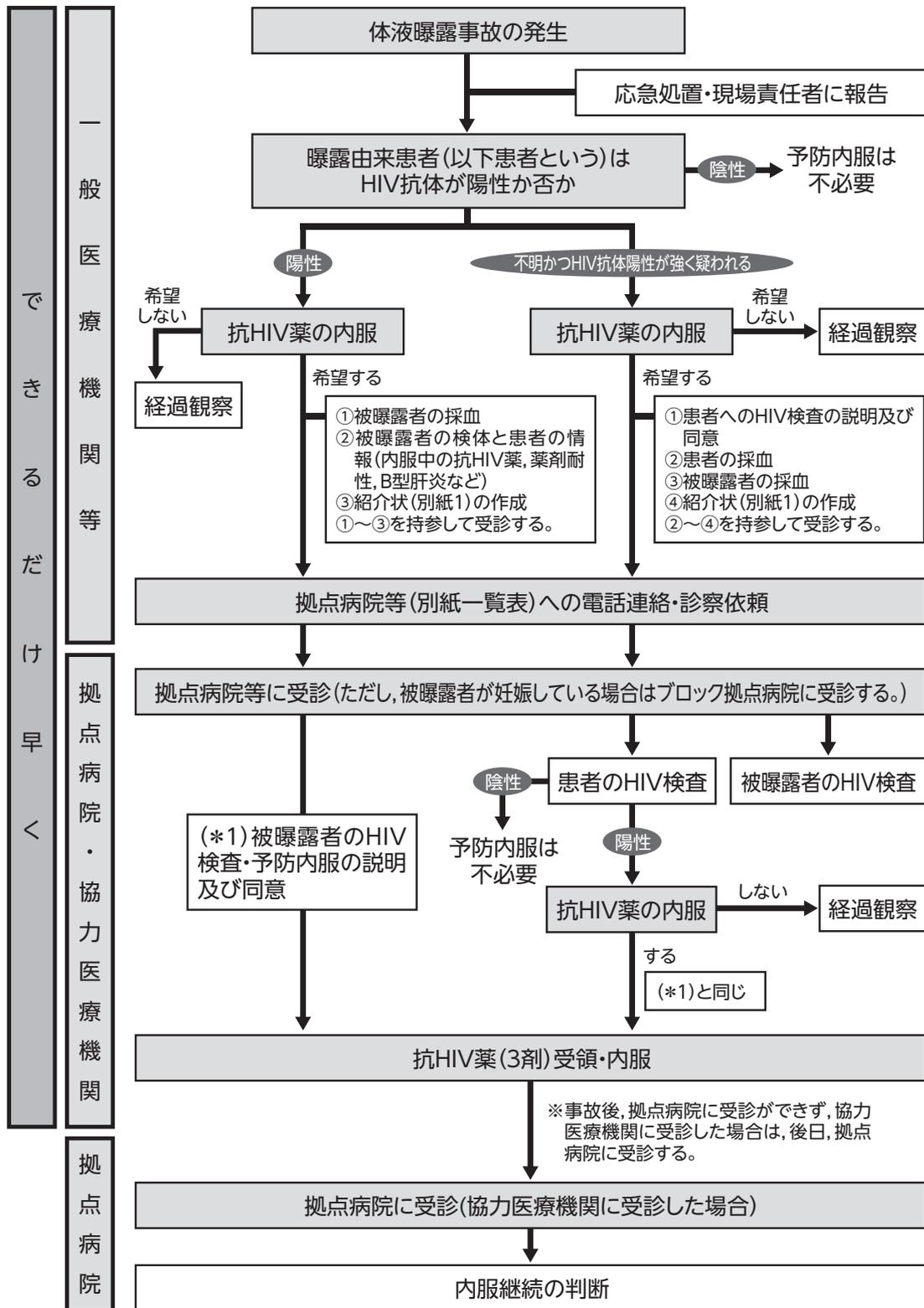
平成24年10月末現在

	病院名	所在地 電話番号(代表)	責任者名(所属)	連絡先	緊急時 (夜間・休日)の 連絡先
エイズブ ロック 拠点病院	広島大学病院	広島市南区霞1-2-3 082-257-5555	藤井輝久, 齊藤誠司 (輸血部/エイズ医療 対策室)	代表 082-257-5555 (責任者へ)	輸血部 082-257-5580
	県立広島病院	広島市南区宇品神1-5-54 082-254-1818	土井正男 (エイズ支援室/呼吸 器内科・リウマチ科) 岡本健志 (エイズ支援室/総合 診療科)	代表 082-254-1818 (呼吸器内科)	代表 082-254-1818 (内科当直医/当 直看護師)
	広島市立 広島市民病院	広島市中区基町7-33 082-221-2291	野田昌昭(内科) 植松周二(内科) 金原正志(呼吸器内科)	代表 082-221-2291	代表 082-221-2291 処置室(内線5173)
エイズ 拠点病院	独立行政法人 国立病院機構 呉医療センター	呉市青山町3-1 0823-22-3111	沖川佳子(血液内科)	代表 0823-22-3111 (内科)	代表 0823-23-1020 (当直者が担当)
	独立行政法人 国立病院機構 福山医療センター	福山市沖野上町4-14-17 084-922-0001	坂田達朗(内科)	HIV/AID医療 チーム 084-922-0001	代表 084-922-0001
協 力 医 療 機 関	市立三次中央 病院	三次市東酒屋町531 0824-65-0101	濱田敏秀(内科)	代表 0824-65-0101	代表 0824-65-0101
	福山市民病院	福山市蔵王町5-23-1 084-941-5151	下江俊成(内科)	代表 084-941-5151	代表 084-941-5151
	三原市医師会 病院	三原市宮浦一丁目15-1 0848-62-3113	奥崎 健(内科)	代表 0848-62-3113	代表 0848-62-3113
	広島県厚生農業 協同組合連合会 広島総合病院	廿日市市地御前1-3-3 0829-36-3111	今村祐司(外科)	代表 0829-36-3111	代表 0829-36-3111

\*必ず事前に電話連絡してから受診すること(受付部署の確認等)

\*「紹介状(別紙1)」を持参すること。

## 2 事故後対応フローチャート(緊急対応用)



子どもたちを守るために

# 予防接種の 普及を目指して

“子どもの健康に関わる皆様へ”

## もくじ

- 01 はじめに
- 02 ワクチンを受けるにあたって知っておいてほしいこと
- 03 ワクチンの大切さ
- 06 広島市内公立保育園・私立幼稚園のアンケート調査から
- 07 日本の定期／任意予防接種スケジュール
- 08 VPD(ワクチンで防げる病気)とワクチンについて

広島県地域保健対策協議会

子どもたちを守るために  
**予防接種の普及を目指して**  
“子どもの健康に関わる皆様へ”

## はじめに

このたび、広島県地域保健対策協議会「健康危機管理対策専門委員会」では乳幼児を中心とする小児の健全な発育と健康を守るお仕事に日頃から従事なさっている方々を対象として、予防接種の意義を充分理解していただき、積極的に保護者の方やお子さんに予防接種を推進していただくことを目的に小冊子を発刊する運びとなりました。

今日、小児を取り巻く環境は厳しく、健康をおびやかす因子が多岐にわたっていますが、新興、再興感染症を中心とする感染症の脅威はその代表といえます。そして、この感染症対策の基本が予防接種（ワクチン）を受けることです。ワクチンで予防できる感染症（VPD）はしっかりワクチンを受けることでかかりませんし、かかったとしても軽症で済みます。従来、日本はワクチン後進国と言われ、国が推奨する予防接種の種類や接種機会が先進国の中で極端に少なく、一時米国では麻しん輸出国として日本が非難されることもありました。最近、各方面からの指摘でこの状態は改善傾向にあり、喜ばしいことですが、一方急激な進展で保護者の理解が十分に行き届いていない面も多々見受けられます。たとえば、生後2か月という早期から2~4種類のワクチンを同時接種することや各ワクチンの接種を受ける大切さ、接種を受ける適切な時期についてなど疑問が多々あるようです。本冊子はこのような疑問に答え、ワクチンを正しく理解し、積極的に大切なワクチンを受けて子どもの健康を守る基盤作りに役立つように構成されています。まず①ワクチンを受けるにあたって知っておいてほしいこと、次に②園児のアンケート調査結果などからワクチンの大切さを知っていただき、最後に③VPD（ワクチンで防げる病気）とその対応するワクチンについて解説しています。なおワクチンについては、今後も接種を受けやすい環境作りや簡便な問診票の考案、より安全で有効な回数が少なく済む多価ワクチンの開発、より痛みが少ない接種方法の検討などまだまだ課題が残されており研究が必要です。

この冊子が少しでも皆様のお役に立ち、子どもたちが健康に育つことを願います。ご活用 of のほどをお願いいたします。

広島県地域保健対策協議会  
健康危機管理対策専門委員会  
協力：広島県小児科医会

# ワクチンを受けるにあたって 知っておいて欲しいこと

## ワクチンは怖いもの？

新聞、テレビなどでワクチン接種後の死亡例が大きく報道され、保護者の中にはワクチンを怖いものだと思われる方がおられます。もちろんワクチンにも副作用がありますが、ほとんどは接種部位が腫れたり熱が出るといった軽いもので、障害を残したり死亡するといった重いものは健康な子どもにはきわめてまれにしか起こりません。ワクチン後の死亡例と報道されたものの多くは、乳幼児突然死症候群などと偶然タイミングを同じくした、いわゆる“紛れ込み”の事例と思われる、ワクチンが直接の死亡の原因となった症例は少ないと考えられています。

副作用のない100%安全なワクチンはありません。しかし、これまでワクチンは感染症を予防することでその病気の重い合併症を防ぎ、多くの命を救ってきました。そのリスクとベネフィットを理性的に判断すれば、ワクチンを接種する方が“お得である”ことは間違いありません。ワクチンはそのきわめてまれなリスクを引き受けてでもする価値のあるものです。

## ワクチンを接種する時期と同時接種について

あたりまえですが、ワクチンはその病気にかかる前に受ける必要があり、できれば早い時期からの接種が望まれます。しかし、生まれる前にお母さんからもらった免疫の影響を避けるため1歳を過ぎてから接種する麻しんワクチンや風しんワクチン、その特性から10歳以後の女兒に接種する子宮頸がんワクチンなど、種類によって推奨される接種時期が異なります。また、公費負担で受けることのできる年齢もワクチン毎に定められていますので、表(P07 [日本の定期/任意予防接種スケジュール (20歳未満) (平成25年4月1日以降)])を参照して適切な時期に接種することを指導してあげてください。

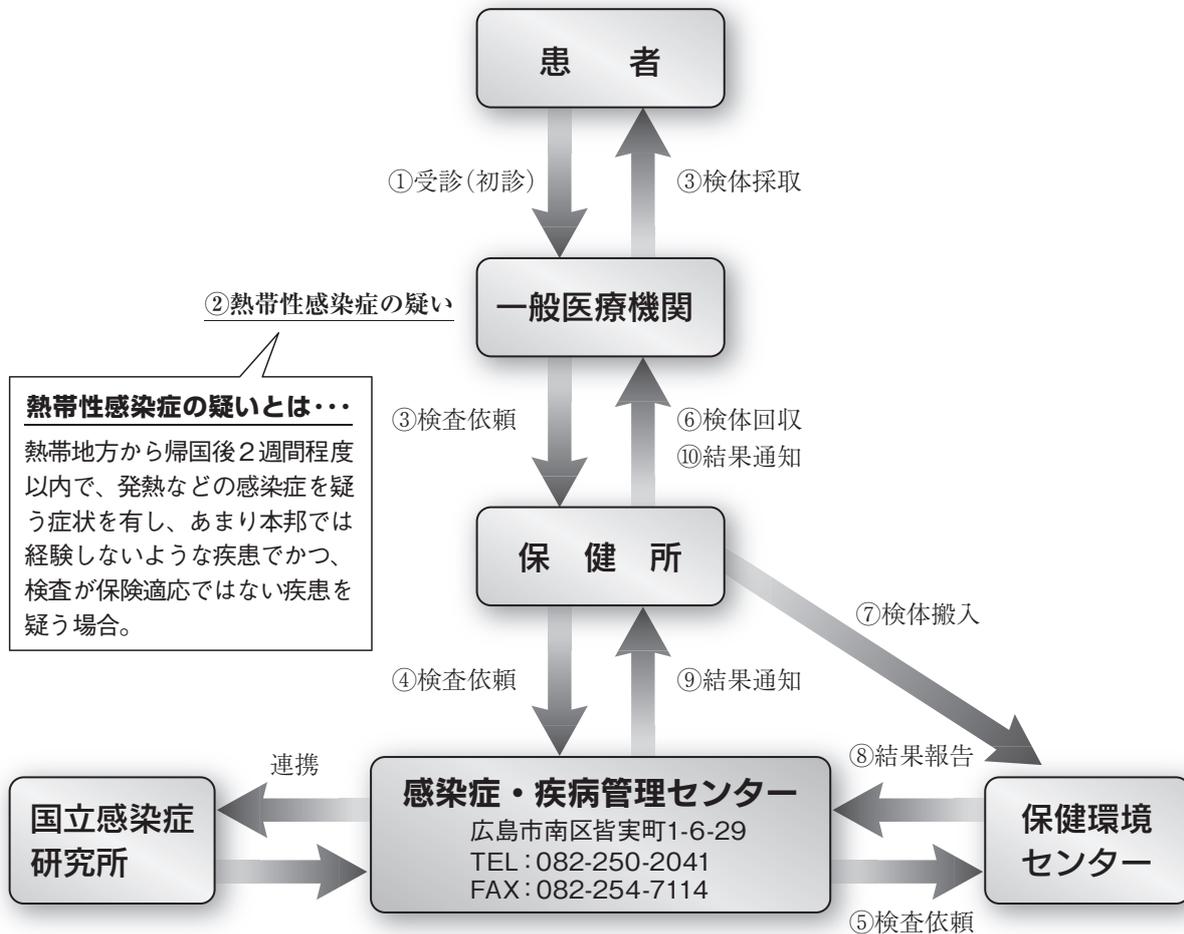
表でおわかりのように、乳児期前半には四種混合ワクチン、BCG、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、ロタウイルスワクチン、B型肝炎ワクチンなどたくさんのワクチンが推奨されています。これらを効率よく接種するためには、早くから接種すること(ワクチンデビューは生後2か月の誕生日)、同時接種をすることの2点がポイントになります。

同時接種で一度に何本ものワクチンを接種してもそれぞれのワクチンの効果は変わらず、副作用が出やすくなることもありません。同時接種では、全体の接種を速く完了することによってその病気にかかるリスクを減らすことができます。ちなみに、アメリカでは2か月間に8種類のワクチンを同時に接種しています。もっとも、混合ワクチンが開発されているため接種する製剤は3-4本になるのですが。

また、同時接種によって子どもの泣く日を減らすことができます。実際にヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチン、四種混合ワクチン、B型肝炎ワクチンを接種するプランをたててみましょう。それぞれのワクチンを個別に接種する場合には1ヶ月間で週毎に4回病院に行く必要があり泣く日が4日もできるのですが、同時接種だと泣く日は1ヶ月間で1日だけですみます。子どもにとってもこのほうがよいのではないのでしょうか。

# 熱帯性感染症の専門的な検査が必要な場合の流れ

広島県（広島市以外）版

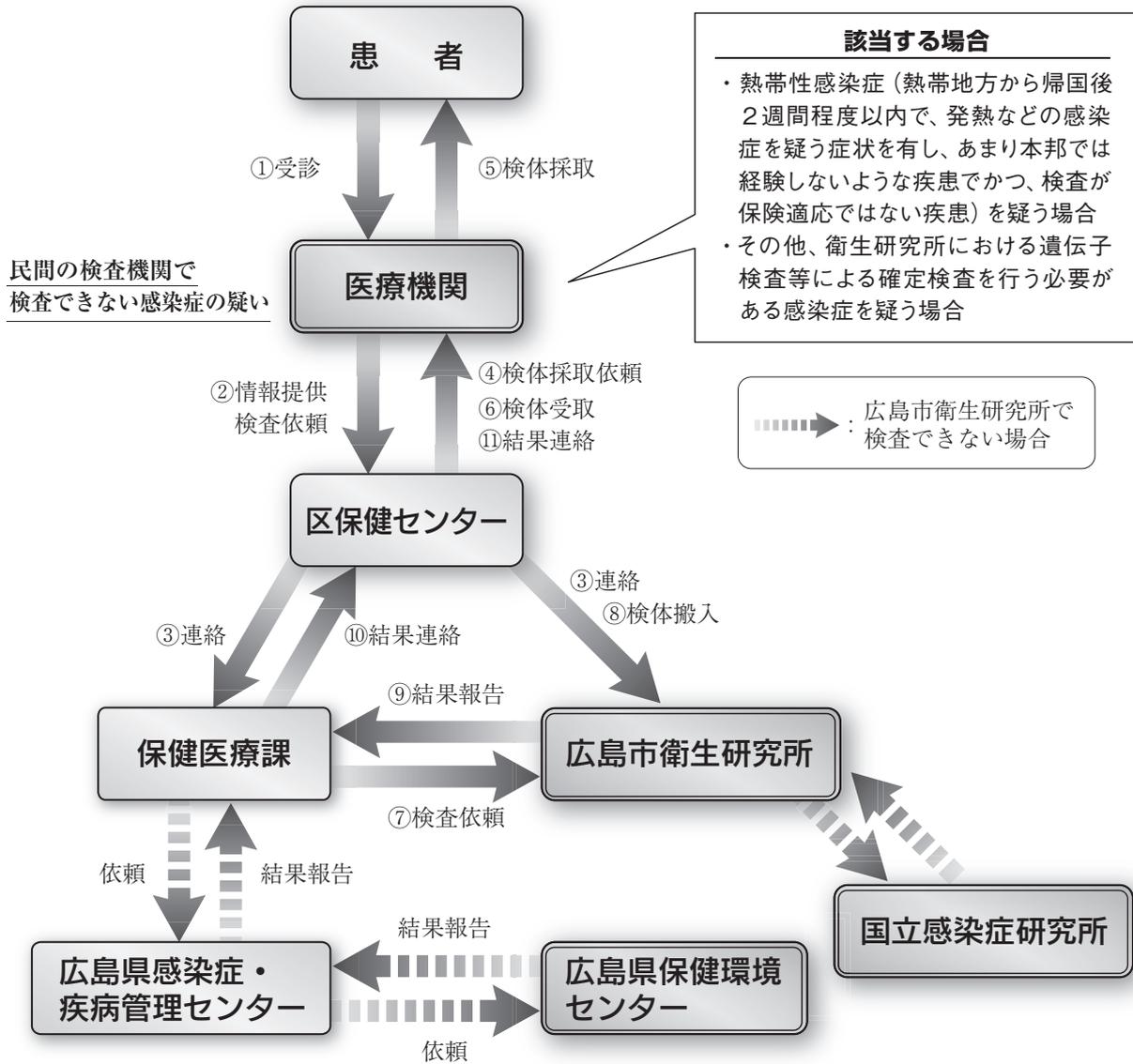


※検査によっては、結果までかなりの時間がかかります。広島県保健環境センターで行える検査につきましては、下記の保健所・支所の窓口までお問い合わせください。

保健所・支所名	住所	連絡先	F A X	管 轄
西部保健所 保健課	〒738-0004 廿日市市桜尾2-2-68	0829-32-1181	0829-32-3244	大竹市、廿日市市
広島支所 保健課	〒730-0011 広島市中区基町10-52	082-513-5521	082-511-8707	安芸高田市、府中町、 海田町、熊野町、 坂町、安芸太田町、 北広島町
呉支所 厚生保健課	〒737-0811 呉市西中央1-3-25	0823-22-5400	0823-22-5994	江田島市
西部東保健所 保健課	〒739-0014 東広島市西条昭和町13-10	082-422-6911	082-422-5048	竹原市、東広島市、 豊田郡
東部保健所 保健課	〒722-0002 尾道市古浜町26-12	0848-25-2011	0848-25-2463	三原市、尾道市、 世羅郡
福山支所 保健課	〒720-8511 福山市三吉町1-1-1	084-921-1311	084-928-7882	府中市、神石高原町
北部保健所 保健課	〒728-0013 三次市十日市東4-6-1	0824-63-5181	0824-63-5190	三次市、庄原市
呉市保健所 保健総務課	〒737-0041 呉市和庄1-2-13	0823-25-3525	0823-24-6826	呉市
福山市保健所 保健予防課	〒720-0032 福山市三吉町南2-11-22	084-928-1127	084-921-6012	福山市

# 熱帯性感染症の専門的な検査が必要な場合の流れ

広島市版



※検査によっては、結果までかなりの時間がかかります。広島市衛生研究所で行える検査につきましては、下記の保健センターの窓口までお問い合わせください。

区分	住所	連絡先	F A X
中保健センター	〒730-8565 広島市中区大手町4-1-1	082-504-2528	082-504-2175
東保健センター	〒732-0055 広島市東区東蟹屋町9-34	082-568-7729	082-264-5271
南保健センター	〒734-8523 広島市南区皆実町1-4-46	082-250-4108	082-254-9184
西保健センター	〒733-8535 広島市西区福島町2-24-1	082-294-6235	082-233-9621
安佐南保健センター	〒731-0194 広島市安佐南区中須1-38-13	082-831-4942	082-870-2255
安佐北保健センター	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-19-22	082-819-0586	082-819-0602
安芸保健センター	〒736-8555 広島市安芸区船越南3-2-16	082-821-2808	082-821-2832
佐伯保健センター	〒731-5195 広島市佐伯区海老園2-5-28	082-943-9731	082-923-5098
広島市衛生研究所	〒733-8650 広島市西区商工センター4-1-2	082-277-6998	082-277-0410
保健医療課	〒730-8586 広島市中区国泰寺町1-6-34	082-504-2622	082-504-2258

広島県地域保健対策協議会健康危機管理対策専門委員会

広島県地域保健対策協議会 健康危機管理対策専門委員会

委員長	桑原 正雄	県立広島病院
委員	市川 徹	広島市立舟入病院
	伊藤 俊	広島県立総合技術研究所保健環境センター
	大毛 宏喜	広島大学病院
	坂口 剛正	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	阪谷 幸春	広島市健康福祉局保健部保健医療課
	下江 俊成	福山市民病院
	田中 純子	広島大学大学院医歯薬保健学研究院
	近末 文彦	広島県西部保健所
	豊田 秀三	広島県医師会
	内藤 雅夫	呉市保健所
	中島浩一郎	庄原赤十字病院
	永田 忠	広島市医師会
	新田 康郎	新田小児科
	檜谷 義美	広島県医師会
	藤上 良寛	広島県臨床検査技師会
	布施 淳一	広島県健康福祉局健康対策課
	松岡 俊彦	広島県健康福祉局健康対策課
	村尾 正治	福山市保健所
	柳田 実郎	広島県医師会
	横崎 典哉	広島大学病院
	横山 隆	広島市医師会運営・安芸市民病院
	渡辺 弘司	広島県医師会